

インド経済の発展と日本企業の進出動向 -市場としてのインド経済を読む-

起業家塾 3月例会 (3月18日 (月)) は、
財団法人 インド経済研究所 理事・主任研究員 北村順一 氏をお招きして、開催いたしました。

講師略歴：北村 順一 氏 財団法人 インド経済研究所 理事・主任研究員



榊原 英資 氏が主宰する 財団法人 インド経済研究所 理事・主任研究員。
元三井住友海上インド部長、元損保系シンクタンク研究部長。1973年慶応義塾大学卒。
三井住友海上入社。アジア拠点網戦略（提携・合弁・独資設立）、海外現法・設立・
経営に従事。インド保険市場自由化の機会を捉え、インド側合弁相手を発掘し号原契
約交渉の末、インドへ損保合弁会社を設立、同損保合弁会社取締役筆頭副社長（本社
チェンナイ駐在4年）、インド・リスクマネジメント会社取締役を担う。後、ベト
ナムの WTO（世界貿易機関）加盟に伴う損保市場自由化を捉え、ハノイへ駐在し、ベ
トナム損保現地法人立ち上げ、同現法取締役を担う。趣味ジャズ。

1. インド覚書

・地勢

インドは終戦と同時にパキスタンとともに独立した。宗教によって分けられた。550以上もの藩王国があり、それらを統合した国。藩王国自体に言語・民族などがあり、それらを28州政府と7直轄地に分けた。国土は6カ国と国境が接しており、パキスタン、中国など隣国と争いもあった。中央部をデカン高原が縦に走る。この丘陵地帯に多くの少数民族がいる。

・多様性 - 宗教・言語

日本とインドは切っても切れない関係性にある（仏教）。
仏教は日本とは正反対に絶滅の危機にある。0.8%あまり。一番多い宗教はヒンドゥー教80.5%。
母国語の概念がなく、公用語もない。言語（連邦公用語）はヒンディー語と英語の併用。

・人口規模と人口構成

人口構成が若く、2020年の中位年齢が28.1歳。このとき日本は48.9歳。中国は38.1歳である。総人口で2020年にインドが中国を抜く。

・中間層

中間層が世界最大で、人口構成が若い。これがインド経済のポイント。中間層の定義は上位中間層で自家用車を購入可能。下位中間層でオートバイを購入可能。

2. 政治経済動向

・マクロ経済推移

経済成長は2008年（リーマンショック、2009年下院総選挙）から減少している。インフレ率の上昇。選挙前の財政の拡大政策がインドを減速させた大きな理由。
雇用は製造業比率が少なすぎる。11~12%程度。通常製造業が大きな雇用を生む。製造業の拡大が、インド政府が抱える課題となっている。そこで「新国家製造業政策」を掲げ、今後10年間で25%への引き上げを狙っている。



3. 日本のポジション

・海外直接投資

日本は3位。一番多いのは「モーリシャス」経由の投資。欧米などは「モーリシャス」を通して投資を行っている。

・貿易

インドにとって最大の貿易相手国は「中国」。中国は輸出3位。輸入1位。日本は輸出14位。輸入11位となっている。

・日系企業進出状況

インドへの日系企業の進出は増加傾向にある。インドで登記された企業は2008年1月時点では438企業であったが、2012年10月には926企業。

4. インドビジネスの留意点

①「膨大な機会」「準備万端」「困難の克服（法規制）」「体力の温存」

②法規制：外国資本に対する警戒心。政経不可分

③インドの起業家の特性

「原理原則を保持した完璧な合理主義」と「社会への投資と還元」

5. 課題は何か？

貧困の撲滅、経済の成長

貧困をなくすために成長率を確保する。そのために何をするか？「製造業の増加」。

腐敗の撲滅

以上

【起業家塾 4月例会案内】

内容：「日本経済復活の経済政策『アベノミクス』をどう評価するか」

講師：三橋 貴明 氏 経済評論家、中小企業診断士、(株)三橋貴明事務所 代表取締役社長

日時：平成 25 年 4 月 15 日（月） 18：00～20：45

場所：群馬ロイヤルホテル 2階 まゆだま

外資系 IT 企業、NEC、日本 IBM などを経て 2008 年に中小企業診断士として独立、(株)三橋貴明事務所 代表。単行本執筆、雑誌への連載・寄稿、各メディアへの出演、講演などで活躍している。

